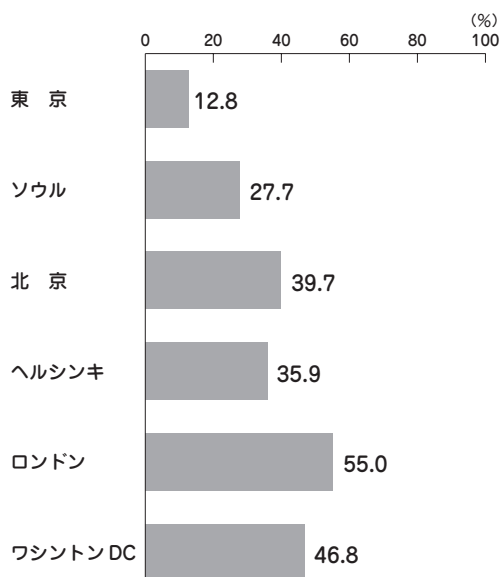


自分専用のパソコンの所有率はロンドン（55.0%）が、自分専用の携帯電話の所有率はヘルシンキ（93.0%）がもっとも高い。インターネットの利用状況については、「学校でインターネットを使って何か調べる」はロンドン（92.6%）が、「家でインターネットを使って何か調べる」はソウル（87.9%）がもっとも高い。

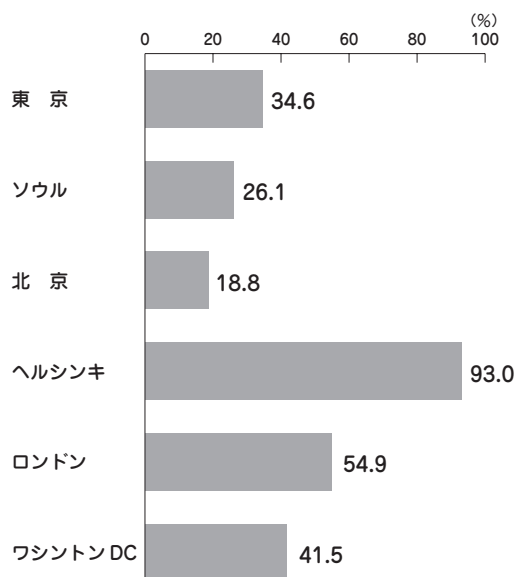
Q あなたの家のことについてお聞きます。

図1-4-1 自分専用のパソコンを持っている



注) 複数回答。

図1-4-2 自分専用の携帯電話を持っている



注) 複数回答。

(次ページへつづく)

家庭環境についてたずねた項目の中で、パソコンと携帯電話の所有についてみると、「自分専用のパソコンを持っている」「自分専用の携帯電話を持っている」ともに、欧米3都市の「あてはまる」と回答する割合が高い傾向がみられた(図1-4-1～2)。とくに、ロンドンでは「自分専用のパソコンを持って

いる」小学生は5割、ヘルシンキでは「自分専用の携帯電話を持っている」小学生は9割を超えている。「自分専用のパソコンを持っている」については、東京は12.8%で、もっとも低く、保護者の教育方針が反映されている可能性がある」と推測される。



パソコンなどのメディア（機械）についてお聞きます。

図 1-4-3 家でインターネットを使って何か調べる

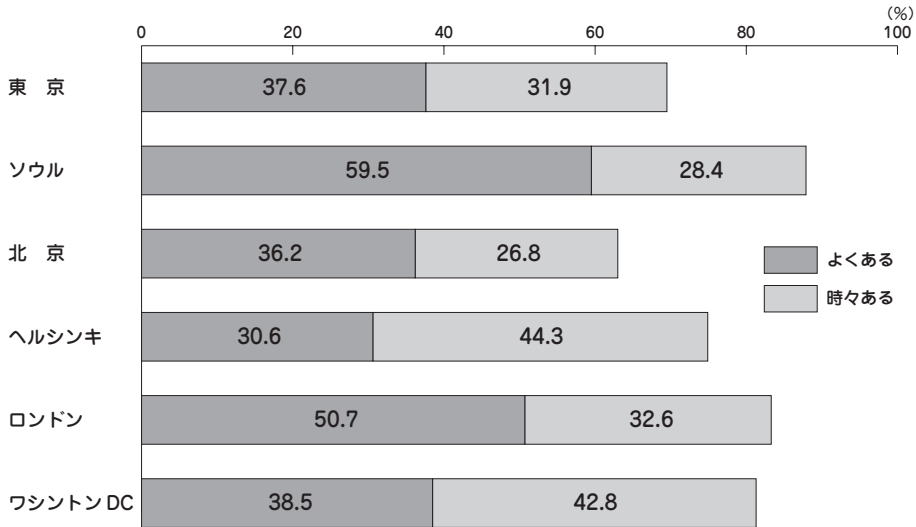
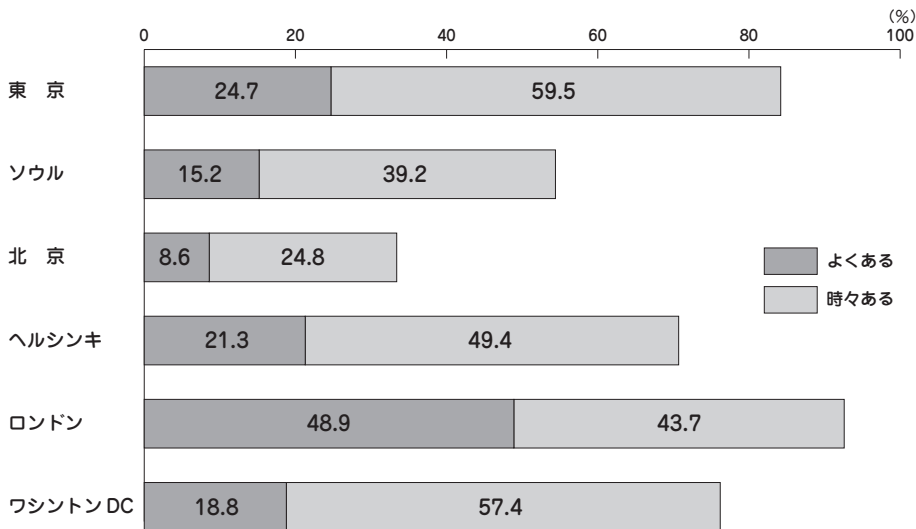


図 1-4-4 学校でインターネットを使って何か調べる



インターネットの利用状況は、「家でインターネットを使って何か調べる」ではソウルがもっとも高く87.9%（「よくある」+「時々ある」の%、以下同）、「学校でインターネッ

トを使って何か調べる」ではロンドンがもっとも高い（92.6%）。一方、北京はインターネットの利用率が6都市の中で、もっとも低い（図1-4-3～4）。